

平成23年度

朝日町予算説明書



朝日町総務課

目 次

◎ 平成23年度 一般会計予算の概要	1
◎ 町民生活と地域経済を守る 緊急対策	2
◎ 第2次朝日町定住促進ビジョン	3
◎ 事業別予算説明	
1. 信頼とつながりにより地域の力をつくる「地域力の向上」	
1-1 地域を支える人材の育成	5
1-2 郷土愛を育む活動の推進	5
1-3 未来を担う子ども達の教育環境づくり	7
2. 安定した暮らしができる産業をつくる「産業力の向上」	
2-1 地域特性を活かした農業の産地力の強化	8
2-2 まちに活力を生み出す産業の創出	10
2-3 地域の宝物を活用した交流・観光の推進	12
3. 安心と魅力のある定住環境をつくる「定住力の向上」	
3-1 みんなで支える子育て環境の整備	13
3-2 健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備	17
3-3 安全安心で、快適な環境の整備	18
◎ 平成23年度 当初予算額（会計別総括表）	23
◎ 一般会計予算額（決算額）の推移	24

平成23年度 一般会計予算の概要

平成23年度町長方針 (町政運営の基本方針)

**総合産業化と集落づくりを推進するとともに、
教育と定住環境を整備し町の持続的発展をはかる**

○地域支援の強化と協働のまちづくりの推進
【地域力】

○多様な連携による総合産業化の推進
【産業力】

○子育て支援と教育環境の整備
【定住力×地域力】

○健康で生きがいのある快適な生活の支援
【定住力】

・まちづくりの基本指針となる、「第5次朝日町総合発展計画」の実施4年度としての基盤づくりのために、「平成23年度町長方針」に沿って対応する事業(プロジェクト)へ、重点化を図り実施する。
・引き続き、効果的な事務事業の推進等の行財政健全化の方策を着実に実行し、確実に予算編成に反映させる。

(千円)

(1) 第5次朝日町総合発展計画を実現するための3つの柱に行財政資源を集中

○ 信頼とつながりにより地域の力をつくる	【地域力の向上】	147,150
○ 安定した暮らしができる産業をつくる	【産業力の向上】	213,473
○ 安心と魅力のある定住環境をつくる	【定住力の向上】	1,434,375

(2) 町民生活と地域経済を守る、緊急対策の実施 【(1)の再掲】

○ 普通建設事業の堅実な実施		318,677
○ 緊急雇用対策		76,389
○ 地域産業への緊急支援		21,600

1. 予算規模 42億400万円

(平成22年度当初 41億2,000万円、 8,400万円(2.0%)の増)

2. 歳入について

○一般財源

(単位：千円、%)

	23年度	22年度比較増減		備考
		額	率	
町税	539,160	▲30,388	▲5.3	町民税の減
地方交付税	2,280,000	20,000	0.9	普通交付税：経済対策による増、国調人口の減
臨時財政対策債	210,000	▲34,300	▲14.0	普通交付税からの振り替え分の減
財政調整基金繰入金	34,000	▲33,000	▲49.3	
その他(譲与税、交付金他)	247,308	62,863	34.1	地方財政計画に基づく推計による
一般財源総額	3,310,468	▲14,825	▲0.4	

3. 町民生活と地域経済を守る緊急対策

(千円)

■普通建設事業の堅実な実施 318,677

○比較的に少額の事業を数多く実施し、地域の事業者の受注機会を確保する

■雇用対策 76,389

○緊急雇用対策 76,089

◆町臨時職員を増員し雇用の場を確保するとともに、事業者が行う失業者の雇用を支援する

○新規学卒就業者奨励金 300

◆町内に就業する新規学卒者に対して、3万円を給付する

■地域産業への緊急支援 21,600

○持家住宅建築奨励金 15,000

◆50万円（工事費の10%）を限度に、持ち家住宅の建設工事（新築、増改築、修繕、模様替え、外構工事）に対して助成金を交付

○木材製品利用住宅建築奨励金 1,500

◆30万円（使用国産材費の40%）を限度に、持ち家住宅の建設工事（新築、増改築、修繕、模様替え）に対して助成金を交付

○商工業融資制度保証料補給金 3,600

◆セーフティネット保証への対応

○商店街活性化対策 1,500

◆地域振興券の10%増分であるプレミアムセットへの補助

《参考》

平成22年度補正予算対応分

(千円)

～平成23年度以降の実施を計画していた事業の前倒し実施、事業内容の拡充～

■宮宿小学校体育館建設事業 【国補正】 439,850

■地域活性化・きめ細かな交付金事業 【国補正】 122,977

庁舎・開発センター耐震診断事業 5,015

廃校小学校施設解体事業 25,925

朝日自然観整備事業 12,607

町道維持管理事業 50,000

町民体育館耐震診断事業 2,430

土木施設災害復旧事業 12,000

農業用施設災害復旧事業 15,000

【第2次朝日町定住促進ビジョン】

期間：平成22年度～平成24年度
〔主な取り組み〕



「職・育・住」^{かける}×「交流」で定住魅力度アップ↑↑ 朝日町ならではの「暮らし」を提案します！

子育て世代が
住みやすいまちに

^{かける}×「交流」……(町外の人やものと、観光・経済・教育などを通しての交流を促進し、町の活力アップをはかります。)

★印……新規にまたは拡充して取り組むものです。

◇交流観光、交流体験を促進します

- ★新たな観光拠点施設(蔵)を核とした事業の展開【拡充】
- ★朝日町ファンクラブの設立【新規】
- ★人材の育成と着地型旅行の推進【新規】
- ★観光推進会議の設立【新規】
- ★朝日・大江・白鷹3町連携による観光事業の展開【拡充】
- ★地域ブランド推進事業の実施【新規】
- 環境に配慮した取り組みの推進(菜の花プロジェクト等)
- ★情報交流推進員(桃色ウサヒ)の活動【新規】

◇教育分野での交流を促進します

- ★園児と児童生徒の保育交流【拡充】
- 町内外学校との相互交流促進
- ◇結婚への頑張りの後押しします
- ★地域での婚活応援事業の支援【拡充】

◇転入を促進できる環境をつくります

- ★空き家バンクの運営【新規】
- ★空き家利用促進のための奨励金の交付【新規】
- 定住相談総合窓口の充実
- ★定住支援交付金の創設【新規】

職・育・住 それぞれの事業を充実させながら、さらに交流という要素を加えることで、新しい町の魅力を作り出します。

職

仕事のチャンスを見つけよう！

仕事へのチャレンジを实らせるために

◇起業家を育成し、新事業創出を進めます

- ★産業立地促進奨励制度・推進員の強化【拡充】
- ★都市とのパートナーシップ事業の支援【拡充】
- ★起業家の育成・支援【拡充】
- ★県信用保証協会保証料補給金対象事業の充実【拡充】
- 新事業経営安定対策事業の実施

◇安心して生活できる雇用を確保します

- ★緊急雇用確保対策事業の実施【新規】
- 新規学卒就業者奨励制度の実施【継続】
- ★企業誘致の推進【拡充】
- ★勤労者生活安定資金貸付限度額の引上【拡充】
- ★販路拡大対策事業の実施【新規】
- ★雇用維持緊急事業の実施【新規】



農業経営の未来を切り拓くために

◇農業の担い手を集中して支援します

- ★新規就農者育成事業の実施【拡充】
(県立農業大学校入校や機械購入の補助)
- 農家提案型補助事業の実施
- ★新規就農者受入総合窓口の設置【新規】

◇農家の所得向上を促します

- ★朝日町ブランド米の確立支援【新規】
- 高品質りんご生産緊急対策事業の実施
- りんごの輸出拡大支援
- ★農産物の6次産業化の支援【新規】



育

子育てをもっと楽しもう！

安心して産み・育てられるように

◇出産・子育てに係る経済的負担を軽減します

- 第2子以降(3歳以上)保育料5千円の定額化継続
- 無料妊婦健康診査の拡充
- ★小学生以下の医療費・中学生の入院費完全無料化【新規】

◇多様な保育ニーズに応えます

- ★0歳児保育の実施(生後6か月以降)【新規】
- ★休日保育の充実(毎週土曜日)【拡充】
- ★保育内容の充実(園外保育、就学に向けた保育)【拡充】



◇子育てを支える多様な仕組みを作ります

- ★子育て支援センターの充実(土・日開所)【新規】
- 学童保育、放課後子ども教室の充実
- ★子育てボランティア「あさひ子育て応援隊」の設立【新規】
- ★総合型地域スポーツクラブを通じた子どもの体力づくり【新規】

自主・自立の心と確かな学力を育むために

◇一人ひとりの能力を最大限に伸ばします

- ★宮宿小学校体育館の整備【新規】
- ★学習生活指導員等の配置強化【拡充】
- 小学校における英語活動の充実

◇特色ある教育を実施します

- ★保育園・小学校・中学校の連携強化【拡充】
(小中学生の保育体験など)
- 朝日町版職場体験学習の充実

◇通学を楽しめます

- 山形直行バスと山交バスとの共通利用サービス
- バス定期券に対する補助



住

ゆとりある住まいを持つ！

希望にあった住まい・居住空間の実現のために

◇町営アパート、住宅団地を提供します

- 町営アパート
(蔵ハイツ大町、みなみハイツ、中郷ハイツほか)
- ★大谷東住宅団地の分譲【新規】

◇住宅を建てやすくします

- ★持家住宅建築奨励事業の実施【新規】
- ★住宅リフォーム補助制度(県事業)【新規】
- 木材製品利用住宅建築奨励事業の継続
- 合併処理浄化槽設置若者定住促進補助の継続



みんな誰もが安全・安心して暮らせるために

◇住まいを雪・災害から守ります

- 地域で支える雪対策事業の実施
- ★住宅建築物簡易耐震診断の実施【新規】
- ★減災対策訪問アドバイスの実施【新規】
- ★高齢者減災対策補助の実施【新規】

◇交通アクセスを便利にします

- ★デマンドタクシー「あいのり号」の運行【新規】
- ★山形直行バスダイヤの利便性改善【拡充】
- 県都までのアクセス改善推進



町が取り組む施策で、あなたにピッタリの「いい暮らし」が見つかります😊

1. 信頼とつながりにより地域の力をつくる

「地域力 の向上」

基本方針 1-1：地域を支える人材の育成

～地域課題を自ら捉え、やる気と挑戦する人をつくる～

☆ 地域を支えるリーダー、NPO等の団体育成 「協働のまちづくり推進プロジェクト」

(担当：教育文化課)

町では、「協働のまちづくり指針」を策定し、町民が自主的に町づくりに参加し、町民と行政との協働によるまちづくりを本格的に進めます。

そのためには、地域を支え、町を支える人材が必要不可欠であり、新たな人材育成事業に取り組みます。



主な経費

- ・ 運営委託料

100万円

財源内訳

- ・ 町の負担（一般財源）

100万円

基本方針 1-2：郷土愛を育む活動の推進

～地域に自信と誇りを持つ人を育てる～

☆ みんなで考え支え築くコミュニティづくり 「地域提案型交付金事業」

(担当：政策推進課)

地域の創意と工夫を活かした「元気な地域づくり」をめざす住民自治活動を支援するため、各地区に対して「地域提案型交付金」を交付します。

主な経費

- ・ 地域提案型交付金

1,170万円

財源内訳

- ・ 町の負担（志藤六郎村おこし基金からの繰入れ）
- ・ 町の負担（一般財源）

200万円

970万円

☆ みんなで考え支え築くコミュニティづくり

「町職員地域支援担当事業」

(担当：政策推進課)

平成 20 年度からの継続事業として、地域づくりの推進を目的に、町職員を「地域支援担当職員」として各区に配置し、各区の計画実現や課題解決に向けた取り組みを行い、協働のまちづくりを進めます。

主な経費

- ・協働のまちづくり、地域支援担当事業、集落調査 他 54 万円
- ・地域力向上対策、地域づくり対策 他 **拡充** 316 万円
- ・旧小学校校舎等利活用推進 30 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・町の負担（一般財源） 400 万円

「（仮称）和合地域振興センター整備事業」

(担当：政策推進課)

和合地域の振興を目的とした拠点施設の建設に着手するため、住民と行政が連携して計画づくりを行います。

主な経費

- ・（仮称）和合地域振興センター整備事業 **新規** 600 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・町の負担（一般財源） 600 万円

☆ 一人一人が町を好きになる取組み

「朝日町の魅力発見事業」

(担当：政策推進課)

朝日町の様々な魅力がこめられた「朝日宝物がたり」を基に、町を題材としたクイズを通して、より多くの方に楽しみながら本書に触れてもらい、町への誇りと愛着をもってもらえるよう取り組んでいきます。

主な経費

- ・朝日宝物がたり活用小冊子作成 **新規** 10 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・町の負担（一般財源） 10 万円



基本方針 1-3 : 未来を担う子ども達の教育環境づくり

～心身のたくましい健やかな子どもをみんなで育てる～

☆ 子どもに合った教育の場の確保・応用力ある確かな学力を育てる

「学力向上支援事業」

(担当：教育文化課)

一人ひとりの児童・生徒に対するきめ細やかな教育を支援し、知識や技能、思考力等の総合的な学力の向上を図ります。

平成23年度学級編成一覧表(予定)

学校名	児童・生徒数							学級数
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
西五百川小学校	14	8	13	12	12	12	71	7
宮宿小学校	25	31	28	36	29	29	178	8
大谷小学校	7	13	22	13	12	13	80	7
朝日中学校	74	55	73				202	9

主な経費

- ・ 学力向上推進事業 1 8 4 万円
- ・ 学習生活指導補助員等の配置 6 0 0 万円
- ・ 特別支援学校就学補助 **拡充** 9 0 万円
- ・ 英語指導助手 (ALT) 招致事業 4 6 8 万円

財 源 内 訳

- ・ 町の負担 (一般財源) 1, 3 4 2 万円

☆ 安心して教育が受けられるための支援・教育内容にあった施設整備

「小学校体育館整備事業」

(担当：教育文化課)

安全・安心な学校生活を送れるよう、宮宿小学校体育館の整備、西五百川小学校体育館の耐震診断を実施します。

主な経費

- ・ 西五百川小学校体育館耐震診断 **新規** 3 6 0 万円



財 源 内 訳

- ・ 町の負担 (一般財源) 3 6 0 万円

【参考】宮宿小学校体育館整備は平成 2 2 年度予算、平成 2 3 年度実施となります。

- ・ 宮宿小学校体育館整備 4 億 3, 9 8 5 万円

財 源 内 訳

- ・ 国の負担 9, 9 8 6 万円
- ・ 町の借金 (過疎債) 2 億 9, 1 7 0 万円
- ・ 町の負担 (一般財源) 4, 8 2 9 万円

2. 安定した暮らしができる産業をつくる

「産業力 の向上」

基本方針 2-1：地域特性を活かした農業の産地力の強化 ～朝日町ブランドづくりを進める～

☆ 安全安心・美味しい日本一の「りんご」づくり

「高品質りんご生産緊急対策事業」

(担当：産業振興課)

樹木の高齢化と品種構成の偏りによる品質低下を抑え、「朝日町りんご」の更なるブランドづくりを行うため、ワイ化改植による優良品種への更新について支援します。

主な経費

・高品質りんご生産緊急対策事業 **拡充** 750万円

財源内訳

・町の負担（一般財源） 750万円

○補助対象品種

シナノスイート、秋陽等の奨励品種

○その他

詳細については、担当までお問合せ下さい。



☆ 「安全安心米」づくり「清流美人」等のブランド化、販売促進の支援

「ブランド米生産・販売促進事業」

(担当：産業振興課)

人工衛星を利用し、刈り取り前に良質米を厳選した「あさひ清流美人」のブランド確立を図るため、生産技術の向上及び販売促進を支援します。

主な経費

・ブランド米生産・販売促進事業 **拡充** 250万円

財源内訳

・県の補助 120万円

・町の負担（一般財源） 130万円

☆ 農業の担い手の育成

「後継者・新規就農者支援対策事業」

(担当：産業振興課)

弟子入り制度や生活支援及び就農条件の整備など、新規就農者等が安心して就農できる総合的な支援体制づくりを図ります。

主な経費

・受入れ農家への研修受入助成	7 2 万円
・研修期間中の家賃補助	1 2 万円
・新規就農者生活支援	6 0 万円
・農業大学校授業料補助 拡充	4 8 万円
・就農条件整備支援 拡充	3 0 0 万円
・農地利用集積補助 新規	1 0 万円

財 源 内 訳

・町の負担（一般財源）	5 0 2 万円
-------------	----------

「農業新分野等支援事業（農家提案型補助事業）」

(担当：産業振興課)

農業団体や認定農業者・新規就農者等が行う、農業分野での先進的な取り組みとなる事業や新技術導入事業など、町農業振興のモデルとなる事業について支援します。

主な経費

・農業新分野等支援事業	2 0 0 万円
-------------	----------

財 源 内 訳

・町の負担（一般財源）	2 0 0 万円
-------------	----------

《支援例》

- 花木通年栽培普及支援
- 施設園芸新規作物導入支援
- 果樹栽培新技術導入支援



基本方針 2-2：まちに活力を生み出す産業の創出

～多様な連携による産業集積と創造的 [ものづくり] を進める～

☆ 既存企業の振興

「商工業活性化対策事業」

(担当：産業振興課)

既存企業の活動支援、まちの産業産物が一堂に会する産業まつりをはじめとしたイベントの実施、優れた技術をもつ町内企業の雇用応援、設備投資支援など、まちを元気にする商工業者を応援します。

主な経費

・産業力向上海外研修事業補助	新規	15万円
・緊急雇用確保対策事業	新規	120万円
・雇用維持緊急教育訓練事業	新規	107万円
・販路拡大対策事業	新規	100万円
・町商工会指導事業		350万円
・産業まつり	拡充	100万円
・商業活性化対策事業	拡充	260万円
・事業振興協議会補助		17万円

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）	1,069万円
-------------	---------

「新規学卒就労者奨励金支給」

(担当：産業振興課)

就業と町内事業所の雇用確保を支援するため、町内に就業する新規学卒者に対して3万円を支給します。

主な経費

・新規学卒就労者奨励金支給	30万円
---------------	------

----- 財 源 内 訳 -----

・町の負担（一般財源）	30万円
-------------	------



☆ 新たな事業創出への支援・育成

「新事業経営安定対策事業」

(担当：産業振興課)

朝日町の地域資源を活用した付加価値の高い特産品開発等による新たな事業の起ち上げに対し、引き続き奨励金を貸与します。

主な経費

・ 新事業経営安定対策事業 200万円

----- 財 源 内 訳 -----

・ 町の負担（一般財源） 200万円

《奨励金の貸与と返還》

対象経費総額の50%以内で100万円を限度に奨励金として貸与します。

貸与期間が終了した時点でその事業を継続している場合は、奨励金の返還が免除されます。

「朝日町産業創造推進機構支援事業」

(担当：産業振興課)

平成20年度に創設された「朝日町産業創造推進機構」へ運営のための補助金を交付し、起業のための支援や、起業された方への経営安定化に向けた支援、都市との交流観光事業による商品の販路開拓等を行います。



主な経費

・ 朝日町産業創造推進機構運営補助 **拡充** 1,300万円

----- 財 源 内 訳 -----

・ 町の負担（一般財源） 1,300万円



基本方針 2-3：地域の宝物を活用した交流・観光の推進

～地域資源や「食」の活用と、情報発信力を強化する～

☆ 観光振興体制の充実

「観光振興推進員設置事業」

(担当：産業振興課)

交流人口の拡大を目指し、町の観光情報の収集や発信、また観光資源の調査や観光ソフトの開発など更に充実させるため、観光協会に「観光振興推進員設置補助」を交付し、観光振興体制の充実を図ります。

主な経費

・観光振興推進員設置補助	439万円
----- 財 源 内 訳 -----	
・県の補助	439万円

☆ 観光交流受入体制の充実

「観光施設整備振興事業」

(担当：産業振興課)

来訪者へのもてなしの心を大切に持ち、更なる観光交流を推進するため、観光案内板等を設置し、受入体制の充実を図ります。

主な経費

・観光案内板整備事業 他	1,840万円
----- 財 源 内 訳 -----	
・国の補助	1,170万円
・町の負担（一般財源）	670万円

☆ 観光交流情報の収集・発信体制の充実

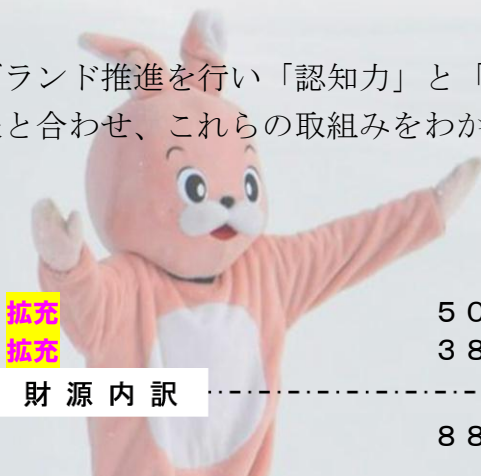
「地域情報発信力強化事業」

(担当：政策推進課)

町の情報発信力強化と地域ブランド推進を行い「認知力」と「競争力」を高めるとともに、観光交流情報と合わせ、これらの取組みをわかりやすく魅力的にアピールしていきます。

主な経費

・地域ブランド推進事業	503万円
・地域おこし協力隊事業	383万円
----- 財 源 内 訳 -----	
・町の負担（一般財源）	886万円



3. 安心と魅力のある定住環境をつくる

「定住力」の向上

基本方針 3-1：みんなで支える子育て環境の整備

～働いている親も安心して子育てのできるまちづくりを進める～

☆ 子育てを支える多様な仕組みづくり

「保育園等運営委託事業」

(担当：健康福祉課)

通常保育のほか、早朝・延長保育に土曜保育など、多様化する保育ニーズへの迅速な対応と子育て世代への支援強化を図るため、民間活力を生かしたより良い保育園運営を目指し、社会福祉法人「あさひ会」へ運営を委託します。

主な経費

- ・あさひ保育園
- ・子育て支援センター
- ・放課後児童クラブ
- ・通園バス運行等

運営委託 **新規** 1億2,519万円

財源内訳

- ・国の交付金 500万円
- ・県の交付金 180万円
- ・町の負担（一般財源） 1億1,839万円

「あさひ保育園」平成23年度入所児童数（予定）

3歳児未満	3歳児	4歳児	5歳児	計
27	56	47	47	177



☆ 子育てにかかる経済的負担の軽減

「小学生以下医療費完全無料化事業・中学生入院医療費完全無料化事業」

(担当：健康福祉課)

子育て支援策のひとつとして、完全無料化の対象を未就学児から小学生まで広げるとともに、中学生の入院費を無料化する「朝日町小学生以下医療費完全無料化事業・中学生入院医療費完全無料化事業」を実施します。

これは、県の子育て支援の非該当者及び、県の子育て支援医療制度において発生する自己負担分に対し、町がさらに助成するものです。

ただし、入院時の食事代や差額室料など自費負担のものは該当しませんのでご注意ください。

主な経費

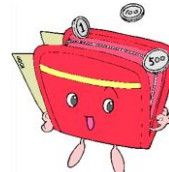
- ・子育て支援医療給付費 **拡充** 2,586万円
- ・子育て支援医療審査支払 **拡充** 111万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・県の負担 486万円
- ・町の負担（一般財源） 2,211万円

○手続きの流れ

受診 ⇒ 自己負担金の支払い ⇒ 領収書を役場に提出 ⇒ 後日口座に振込



☆ 子育てにかかる経済的負担の軽減

「子ども手当支給事業」

(担当：健康福祉課)

中学3年生までの子どもを対象に、月額13,000円を支給します。

主な経費

- ・子ども手当支給 1億3,206万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・国の負担 1億 578万円
- ・県の負担 1,309万円
- ・町の負担（一般財源） 1,319万円

「第 2 子以降（3 歳児以上）の保育料の軽減」 （担当：健康福祉課）

子育て支援策のひとつとして、平成 19 年度から第 2 子以降（3 歳児以上）の保育料を 5,000 円に定額化しています。（3 歳未満児は対象外です。）

影響額

・ 5,000 円定額化による保育料の軽減総額 1,709 万円

「18 歳以下季節性インフルエンザ予防接種助成事業」 （担当：健康福祉課）

18 歳以下の子ども等が受けた季節性インフルエンザ予防接種費用に対し、1,500 円を限度に町が助成します。

主な経費

・ 18 歳以下インフルエンザ予防接種助成 125 万円

----- 財 源 内 訳 -----

・ 町の負担（一般財源） 125 万円

「子宮頸がん等ワクチン接種事業」 （担当：健康福祉課）

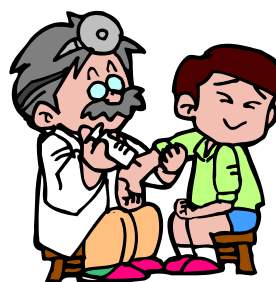
中学生、高校生を対象としたワクチン接種の完全無料化に加え、19 歳から 45 歳までの希望者についても、町が費用の半額を負担します。

主な経費

・ 子宮頸がんワクチン予防接種助成 **拡充** 168 万円

----- 財 源 内 訳 -----

・ 町の負担（一般財源） 168 万円



☆ 健やか健診、育児健診等の実施

「妊婦健康診査助成事業」

(担当：健康福祉課)

子育て支援策のひとつとして、無料妊婦健診受診券交付を14回分とします。これにより、経済的負担を軽減するとともに、妊婦健康診査の受診を推進し、母体や胎児の健康確保を図ります。

なお、今年度より白血病母子感染対策の検査も実施します。

主な経費

・ 無料妊婦健診受診券交付（14回分）	372万円
・ 妊婦健診償還払補助	8万円

----- 財源内訳 -----

・ 国の補助	105万円
・ 町の負担（一般財源）	275万円

☆ 地域で支える子育て環境の整備・充実

「放課後子ども教室の開設」

(担当：教育文化課)

放課後の子ども達が安全安心で健やかな居場所を確保するため、「放課後子ども教室」を引き続き開設します。

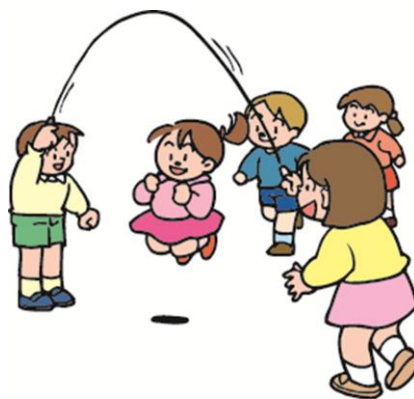
また、仕事などで保護者や家族の方が、昼間家庭に不在となる児童等に対しては、「放課後児童クラブ」を開設します。

主な経費

・ 放課後子ども教室	148万円
------------	-------

----- 財源内訳 -----

・ 県の負担	96万円
・ 町の負担（一般財源）	52万円



基本方針 3-2：健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備

～生涯現役で活躍できる健康な人を増やす～

☆ 地域医療の充実

「朝日町立病院運営費」

(担当：町立病院)

町民の皆様へ、質の高い思いやりのある医療・保健・福祉を提供いたします。

主な経費

- ・町立病院収益的収支 7億7,720万円
- ・町立病院資本的支出 7,460万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・病院会計 6億 627万円
- ・病院会計の負担（借金・病院債） 980万円
- ・国の補助（国保調整交付金） 488万円
- ・国の補助（交付税） 1億9,069万円
- ・町の負担（一般財源） 4,016万円

☆ 地域における支え合い：高齢者自立生活支援システムの整備

「高齢者の安全、生きがい活動支援」

(担当：健康福祉課)

緊急時対策に加え、社会福祉協議会や民生児童委員等、推進機関との連携を図り、各種教室や元気クラブなど、楽しみながら健康で社会参加できる高齢者の生活を支援する活動を進めます。



主な経費

- ・災害時要援護者支援管理システム整備 **新規** 579万円
- ・障がい者・高齢者世帯への自動消火器配布 **新規** 351万円
- ・社会福祉協議会運営、高齢者等サロン活動促進 **拡充** 755万円
- ・民生児童委員活動費等助成 400万円
- ・長寿クラブ助成、福祉バス運行委託等 541万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・県の負担 268万円
- ・町の負担（一般財源） 2,358万円

介護保険特別会計で行っている主な事業

- ①介護予防事業 694万円（ぴんしゃん教室、介護予防教室、元気クラブ等）
- ②包括的支援事業 20万円（ケアマネージャー支援）
- ③任意事業 496万円（紙おむつ支給事業、介護者交流会等）

基本方針 3-3 : 安全安心で、快適な環境の整備

～地域ぐるみの支え合いと、生活を支える基盤をつくる～

☆ 災害に備える基盤整備や地域防災体制の確立

「木造住宅簡易耐震診断助成事業」

(担当：建設水道課)

大規模地震に備え、木造住宅の耐震診断を希望する住宅の所有者に対し、町で耐震診断士を派遣し、その費用の一部を負担します。

■ 診断士派遣費用 6 万円 (1 棟当たり)

【負担割合】

- ・町の負担 (9割) 54,000円
- ・所有者負担 (1割) 6,000円

主な経費

- ・木造住宅簡易耐震診断委託 (50 戸分) 300 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・国の負担 150 万円
- ・町の負担 (一般財源、※所有者負担分 30 万円含む) 150 万円

☆ 快適で多様な住宅環境の整備

「持家住宅支援事業」

(担当：建設水道課)

自ら居住する持家住宅の 50 万円以上の建設工事 (新築、増改築、修繕等) に対し、助成金を交付します。

また、町内に建築された木造住宅 (新築及び増改築) に対し、助成金を交付します。

主な経費

- ・持家住宅建築奨励 **拡充** 1,500 万円
- ・木材製品利用住宅建築奨励 150 万円

----- 財 源 内 訳 -----

- ・町の負担 (一般財源) 1,650 万円



助成制度の一例

① 持家住宅建築奨励助成金 (限度額 50 万円)

町内建設業者との契約に限ることとし、費用の 10% 以内を助成します。

② 木材製品利用住宅奨励助成金 (限度額 30 万円)

町内製材業者から納入し使用するか、または町内建築業者施工のものに限り、国内産木材製品額の 40% 以内を助成します。

☆ 快適で多様な住宅環境の整備

「生活排水処理事業」

(担当：建設水道課)

町では、大谷地区を除く町内全域に合併処理浄化槽設置を推進し、多様な助成制度等を設け普及促進を図り、快適な排水処理環境確立に努めます。

主な経費

- ・ 合併処理浄化槽設置補助 **拡充** 1,586万円
- ・ 西町排水路整備測量設計 **新規** 200万円

財源内訳

- ・ 国の負担 264万円
- ・ 町の負担（一般財源） 1,522万円

各種助成制度の一例

①若者定住奨励金（5万円）

合併処理浄化槽を設置した年度において、夫婦の一方が40歳未満、または18歳以下の扶養者が1名以上の世帯

②転入者奨励金（20万円）

合併処理浄化槽を設置した年度において転入した世帯

③単独浄化槽切替促進助成金（10万円）

単独浄化槽から合併浄化槽に切替工事をした場合、これまでの切替補助金（5万円）に切替奨励金（5万円）を上乗せし、計10万円を助成します。

☆ 快適で多様な住宅環境の整備

「定住対策事業」

(担当：政策推進課)

転入を促進できる環境づくりを推進するため、空き家バンクの充実、定住に関する各種補助金等を交付するとともに、大谷地区に整備した住宅団地分譲を促進します。

主な経費

- ・ 空き家利活用促進奨励金 **新規** 30万円
- ・ 定住支援交付金 **新規** 100万円

財源内訳

- ・ 町の負担（一般財源） 130万円

各種助成制度の一例

①空き家利活用促進奨励金

空き家を利用する際に必要な改修経費に対し、10万円を限度として奨励金を交付します。

②定住支援交付金

大谷の住宅団地分譲に際し、町外購入者には50万円、町内購入者には25万円を交付します。

☆ 安全で便利な交通環境の整備

「山形直行バス運行事業」

(担当：政策推進課)

山形直行バスは、山形市内の高校等に通学している生徒の保護者の経済的・時間的負担の軽減と、通学・通勤・通院等の利便性向上を図るため、平成 22 年度に引き続き運行いたします。

主な経費

・山形直行バス運行経費 **拡充** 1,038万円

財源内訳

・町の負担（一般財源） 1,038万円

【利用料金】

	高校生以上	中学生以下	小学生未満
乗車1回当り	500円	250円	無料

定期券の種類		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
片道定期	通学	6,000円	17,000円	31,000円	60,000円
	通勤	8,000円	22,500円	41,000円	80,000円
往復定期	通学	12,000円	34,000円	62,000円	120,000円
	通勤	16,000円	45,000円	82,000円	160,000円

※往復定期券に限り、左沢駅前発から宮宿行きの山交バスも平日利用ができます。

【時刻】

■往路（朝日町 ⇒ 山形市）

4月～11月及び3月

太郎公民館前	役場前	山形駅西口	山形市役所	北駅西
6:33	6:42	7:35	7:48	8:00

12月～2月

太郎公民館前	役場前	山形駅西口	山形市役所	北駅西
6:18	6:27	7:32	7:48	8:00

■復路（山形市 ⇒ 朝日町）

4月～3月

山交バス本社前	山形駅西口	山形市役所	北駅西	役場前	太郎公民館前
18:10	18:15	18:20	18:28	19:21	19:30

※土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月31日～1月3日）の運行はありません。

ぜひ、ご利用ください。



☆ 安全で便利な交通環境の整備

「デマンドタクシー “あいのり号” 実証運行事業」 (担当：政策推進課)

4月1日から、運行エリアの拡大や運行本数の増便、1日乗車券の発行などを実施し、さらなる利便性の向上を図ります。

※和合地区、北部地区を加え、町内全地区をデマンドタクシーの運行エリアとします。ただし、山交バスの運行区域との関係で、新たに利用できるのは、平、舟渡の一部（町道栗木沢・真中線の沿線から遠い地域にお住まいの方）、川通、大暮山、大沼になります。

主な経費

・ デマンド型交通運行経費 **拡充** 1,965万円

----- 財 源 内 訳 -----

・ 国の補助 172万円
 ・ 町の負担（一般財源） 1,793万円



【運行日】

■月曜日から金曜日の平日に運行します。

※土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月31日～1月3日）の運行はありません。

【運行時刻】

●上り（各地区発、宮宿行き）

①午前8時(注1) ②午前9時30分 ③午後1時
 ④午後3時 ⑤午後4時45分

●下り（宮宿発、各地区行き）

①午前9時 ②午前11時15分 ③午後0時15分
 ④午後2時30分 ⑤午後4時

※乗車人数や運行経路が毎回異なりますので、時刻表は目安となります。また、予約が無い場合は運行しません。

(注1)平、舟渡、川通、大暮山、大沼地区発の1番便は、7時30分になります。

【利用料金】

○全区間1回につき400円。

○小中学生、障害者手帳所持の方は200円、幼児は無料です。

※12枚綴りの回数券（4,000円）も発行いたします。

○1日乗車券1,000円。（利用日1日に限り何回でも利用できます。）

【予約方法】

- ・ 予約センターにて一括で行います。
- ・ 予約は運行時刻の30分前まで可能です。ただし午前8時の宮宿行きについては、前日の午後6時までとなります。
- ・ 受付は、平日の午前7時30分から午後6時までです。

【予約センター電話番号】 67-2173

☆ 安全で便利な交通環境の整備

「町道整備事業・町道維持補修事業」

(担当：建設水道課)

町が管理する町道において、維持補修や整備を計画的に進めます。

主な経費

- ・町道維持補修 1,434万円
- ・町道整備（県道整備町負担金1,200万円含む） 1億6,980万円

----- 財源内訳 -----

- ・国の交付金 9,750万円
- ・町の負担（借金・過疎債） 5,240万円
- ・町の負担（借金・臨道債） 630万円
- ・町の負担（一般財源） 2,794万円



☆ 情報通信環境の整備

「地上デジタル放送難視聴対策事業」

(担当：政策推進課)

7月24日より完全移行となる地上デジタル放送において、難視聴地域における共同受信施設整備を推進します。

主な経費

- ・共聴組合補助 **拡充** 7,700万円

----- 財源内訳 -----

- ・国の補助金 6,000万円
- ・町の負担（一般財源） 1,700万円



☆ 循環型地域社会の構築

「空気のふるさと推進・菜の花活用循環型推進事業（菜の花プロジェクト）」

(担当：産業振興課)

町のシンボルである「澄んだ空気」を大切にするため、環境基本計画に基づき、空気のふるさと推進事業に取り組みます。

また、環境意識が高まる中、耕作放棄地を利用した菜の花から、菜種油を採取し学校給食等に利用し、使用済みの廃油から再びバイオディーゼル燃料にリサイクルする取り組みを通じ、循環型環境意識の醸成を図ります。

主な経費

- ・環境学習の実施、菜種油成分検査等 38万円

----- 財源内訳 -----

- ・町の負担（一般財源） 38万円

平成23年度の主要な施策一覧 (一般会計)

(千円)

■信頼とつながりにより地域の力をつくる 【地域力の向上】 147,150

○みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト

～ 人材育成や学びの環境づくり、コミュニティづくりを通じて、町民の皆さんと行政や企業、団体など多様な担い手がともに考え、ともに築くまちづくりをすすめます。～

◇地域を支える人材の育成「協働のまちづくり推進プロジェクト」		1,000
◇郷土愛を育む活動の推進		
§一人ひとりが町を好きになる取り組み		
◆朝日宝物がたり活用小冊子作成	新規	100
◆エコミュージアムルーム設置		2,000
§みんなで考え支え築くコミュニティづくり		
◆地域提案型交付金、雪対策事業		11,700
◆志藤六郎村おこし基金を活用した地域のシンボルづくり等への助成		3,000
◆和合地域振興センター整備事業(基本設計等)	新規	6,000

○みんなで育てる子ども成長プロジェクト《将来を担う子どもたちの教育環境づくり》

～ 安心して教育を受けることができる環境を整えて、学校と地域と家庭が協力して、自ら未来を切り開くたくましい朝日っ子を育てていきます。～

§子どもに合った教育の場の確保・応用力ある確かな学力を育てる		
◆子どもの実態に応じたきめ細かな指導		6,000
◆各学校における学力向上への支援		1,843
◆特別支援学校就学補助		900
◆英語指導助手の配置		4,679
§地域、家庭の教育力向上への支援。「家庭、学校、地域一体の子育て推進」		630
§安心して教育が受けられるための支援・教育内容にあった施設整備		
◆西五百川小学校体育館耐震診断	新規	3,600

■安定した暮らしができる産業をつくる 【産業力の向上】 213,473

○こだわりのある農業をつくるプロジェクト《地域特性を活かした農業の産地力強化》

～ りんごを中心とした農業は、まちの基幹産業です。全国的にも評価の高い朝日町のりんごづくりやブランド米づくりを支援します。新規就農や新分野の導入などを行う農家を支援し、魅力ある農業をつくり、担い手の確保育成を推進します。～

§安全安心・美味しい日本一の「りんご」づくり		
◆高品質りんご生産緊急対策(新ワイ化導入促進)		7,500
◆りんご輸出拡大対策	増額	2,300
§「安全安心米」づくり、「清流美人」等の米ブランド化、販売促進の支援	増額	2,500
§農業の担い手の育成		
◆後継者・新規就農者の支援対策	増額	4,916
◆農家提案型補助事業		2,000
◆農地利用改善組合補助		300

○みんなが活躍するものづくりプロジェクト《まちに活力を生み出す産業の創出》

～ 既存企業の活動の支援、まちの産業産物が一堂に会する産業まつりをはじめとしたイベントの実施、優れた技術をもつ町内企業の雇用応援、設備投資支援など、まちを元気にする商工業者を応援します。～

～ 新しい事業の創出を目指して、町外に向けては企業誘致に関する情報の収集・発信に努めます。また、町内に向けては商品開発から販路確保など積極的に起業に向けた支援を実施します。～

§ 既存企業の振興

◆産業力向上海外研修事業補助金	新規	150
◆緊急雇用確保対策事業	新規	1,200
◆雇用維持緊急教育訓練事業	新規	1,070
◆販路拡大対策事業	新規	1,000
◆町商工会指導事業、商業活性化対策事業補助	拡充	6,100
◆商工業融資制度保証料補給金		3,600
◆緊急雇用対策事業	増額	70,339
◆新規学卒就労者奨励金支給		300

§ 新たな事業創出への支援・育成：「場」のブランドづくり

◆朝日町産業創造推進機構運営補助	増額	13,000
◆新事業経営安定対策		2,000
◆企業立地奨励補助		1,755

○みんな温か交流・観光プロジェクト《地域の宝を活用した交流・観光の促進》

～ 交流・観光の推進を図るため、地域の観光資源の再確認と整備をすすめ、誰もが訪れたいくなる朝日町をつくっていきます。観光振興推進員を配置し、他地域に負けない観光を目指します。これらの取組みをわかりやすく魅力的に広くアピールしていくため、情報発信を推進します。～

◆地域ブランド推進事業	拡充	5,035
◆地域おこし協力隊事業	新規	3,831
◆観光協会負担金・補助金	増額	1,800
◆観光施設整備事業（観光案内板ほか）		18,400

■安心と、魅力のある定住環境をつくる 【定住力の向上】 1,434,375

○みんな支え合うこどもいっぱいプロジェクト《みんなで支える子育て環境の整備》

～ 働いている親も安心して子どもを育てたいけるよう、子育て支援対策を実施します。無料妊婦健康診査や医療給付事業など経済的な負担の軽減を図ります。統合保育園に子育て支援センターを併設し、子育て相談や情報交換の場を設けます。放課後子どもプランの実施など安心安全な子育て環境の整備を行います。～

§ 町民が安心して利用できる安全な子育て支援拠点施設の整備・活用

◆保育園等運営委託（あさひ保育園、子育て支援センター、放課後児童クラブ、通園バス運行）	新規	125,191
◆子育て総合支援事業（妊娠、出産、子育てまでの総合的な支援の実施）	拡充	630

§ 子育てに係る経済的負担の軽減

◆第2子以降の保育料軽減（5,000円定額）		17,088
◆小学生以下の医療費・中学生の入院費完全無料化	拡充	26,971
◆子宮頸がん等ワクチン接種事業（子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の無料化）	拡充	8,366
◆妊婦健診の完全無料化（14回分）		3,722
◆18歳以下のインフルエンザワクチン接種費用の1/2助成		1,252

§ 地域で支える子育て環境の整備・充実（放課後子ども教室の実施）

		1,475
--	--	-------

§ 高校通学に困らない交通手段の確保

◆山形市直行バスの運行	拡充	10,380
◆バス定期券（宮宿～左沢駅）購入に対する50%助成		3,000

○みんな達者でにこにこ元気プロジェクト《健康で、生きがいをもって活動できる環境の整備》

～ 町民の皆さんが、生涯を通じて健康でにこにこ元気に生活していくことができるよう、健康づくり、健康維持、医療、福祉を町、町立病院が連携して支援して行きます。～

§ 健康づくりと健康チェックの充実（検診事業、健康相談指導事業）	拡充	31,069
§ 地域医療の充実		
◆在宅当番医制・休日診療等		3,216
◆朝日町立病院運営補助（地域医療基盤の維持・強化）	増額	230,841
§ 高齢者が元気で安心して生活できる		
◆災害時要援護者支援管理システム整備	新規	5,790
◆障がい者・高齢者世帯への自動消火器配布	新規	3,510
◆長寿クラブ助成、元気クラブ助成、シルバー人材センター運営補助、福祉バス運行委託		5,418

○安らぎのある自然に優しいまちづくりプロジェクト《安全安心で、快適な環境の整備》

～ 住、交通、情報など生活基盤の整備、自然資源の保全保護、環境に優しいまちづくりを通じて快適な生活環境の整備を進めます。基盤整備や地域の取組みの推進を通じて安全で安心なまちづくりを進めます。～

§ 災害に備える基盤整備や地域防災体制の確立		
◆木造住宅耐震診断の実施		3,000
§ 快適で多様な住宅環境の整備		
◆生活排水処理事業（合併処理浄化槽の設置補助、排水路整備）	拡充	17,860
◆木材利用住宅建築助成		1,500
◆持家住宅建築助成	増額	15,000
◆空き屋利活用促進奨励金	新規	300
◆定住支援交付金	新規	1,000
§ 安全で便利な交通環境の整備		
◆デマンド型乗合タクシー導入検討事業	拡充	19,645
◆町道等整備		178,442
§ 循環型地域社会の構築（空気のふるさと推進、菜の花活用循環型産業実験事業）		384

平成23年度 当初予算額（会計別総括表）

（単位：円、％）

会計の別		区分	当初予算額		比較増減		
			平成23年度	平成22年度	予算額	率	
一 般 会 計			42億400万	41億2,000万	8,400万	2.0	
		うち他会計からの繰入	0万	0万	0万	0.0	
		うち他会計への繰出	5億2,588万	5億1,355万	1,233万	2.4	
特 別 会 計	集落排水事業特別会計		2,050万	2,170万	△120万	△5.5	
			うち一般会計からの繰入	201万	201万	0万	0.0
	国民健康保険特別会計		10億6,600万	10億3,100万	3,500万	3.4	
			うち一般会計からの繰入	9,454万	9,349万	105万	1.1
	介護保険特別会計		9億860万	8億8,659万	2,201万	2.5	
			うち一般会計からの繰入	1億6,359万	1億5,865万	494万	3.1
			うち一般会計への繰出	0万	0万	0万	0.0
	後期高齢者医療特別会計		7,805万	8,569万	△764万	△8.9	
			うち一般会計からの繰入	3,242万	3,953万	△711万	△18.0
			うち一般会計への繰出	0万	0万	0万	0.0
	老人保健特別会計		—	180万	△180万	皆減	
			うち一般会計からの繰入	—	19万	△19万	皆減
		うち一般会計への繰出	—	0万	0万	皆減	
企 業 会 計	病院 事 業 会 計	収益的収支	7億7,720万	7億6,520万	1,200万	1.6	
		資本的支出	7,460万	5,091万	2,369万	46.5	
		うち一般会計からの繰入	2億3,084万	2億1,714万	1,370万	6.3	
	水道 事 業 会 計	収益的収支	1億5,900万	1億5,900万	0万	0.0	
		資本的支出	6,470万	8,310万	△1,840万	△22.1	
		うち一般会計からの繰入	247万	247万	0万	0.0	
総 額			73億5,265万	72億1,899万	1億3,366万	1.9	
会計間のお金の出し入れを除いた正味の総額			68億2,677万	67億543万	1億2,134万	1.8	

一般会計予算額（決算額）の推移

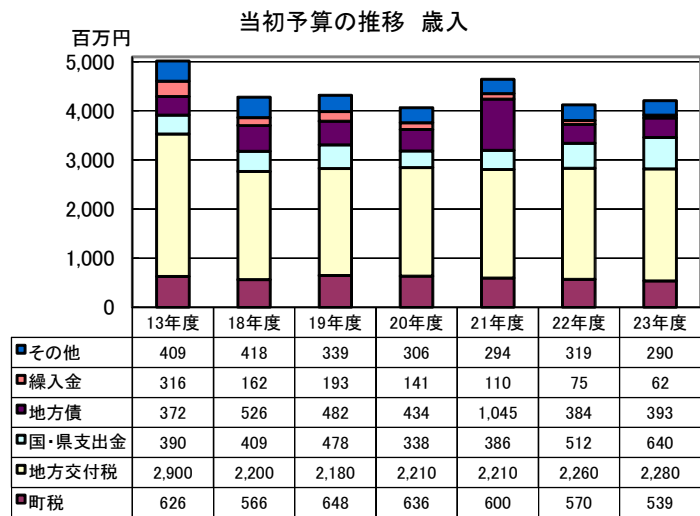
1. 一般会計当初予算の推移・概要

○平成23年度予算規模 42億400万円

(前年度比較8,400万円、2.0%の増)

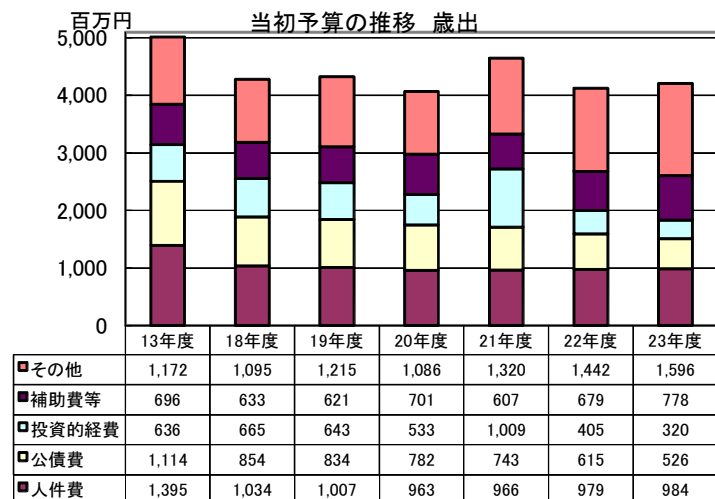
(1) 歳入の特徴

- ・町税：景気低迷による個人・法人町民税の減
- ・地方交付税：地域活性化経済対策関係経費の増、国勢調査人口減による減、公債費算入分の減
- ・繰入金：財政調整基金繰入の減、ふれあい福祉基金繰入の増
- ・町債：過疎債ソフト分（過疎地域自立促進事業）の増、臨時財政対策債の減



(2) 歳出の特徴

- ・公債費：これまでの起債の抑止、繰上償還による減
- ・投資的経費：まちづくり交付金事業の減
- ・補助費等：テレビジョン難視聴対策事業補助金・持家住宅建築補助金の増
- ・その他
 - 物件費：あさひ保育園運営業務委託費の増
 - 扶助費：子ども手当の増



2. 人件費の状況

(1) 人件費は平成11年度の13億6,900万円がピーク。

(単位:百万円、%、人)

	13年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
人件費	1,344	1,029	1,011	976	966	979	984
伸び率	△1.6	△8.0	△2.1	△3.5	△1.0	1.3	0.5
職員給	890	652	649	631	619	607	588
伸び率	△2.4	△9.9	△1.5	△2.8	△1.9	△1.9	△3.1
職員数	142	109	100	103	103	103	101

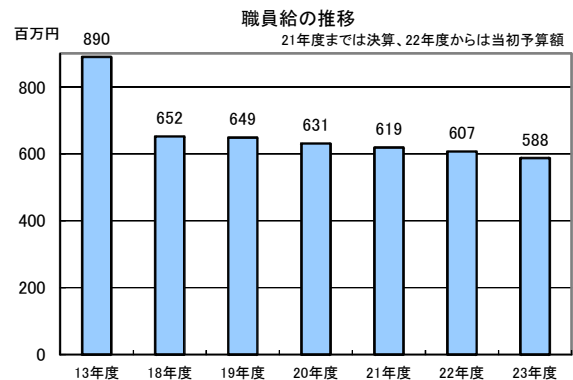
(21年度までは決算、22年度からは当初予算額)

(2) 職員給・職員数とも

平成11年度の9億2千万円、

149人がピーク。

職員数の削減、給料制度・諸手当の見直しによる減等により、職員給は12年連続の削減。

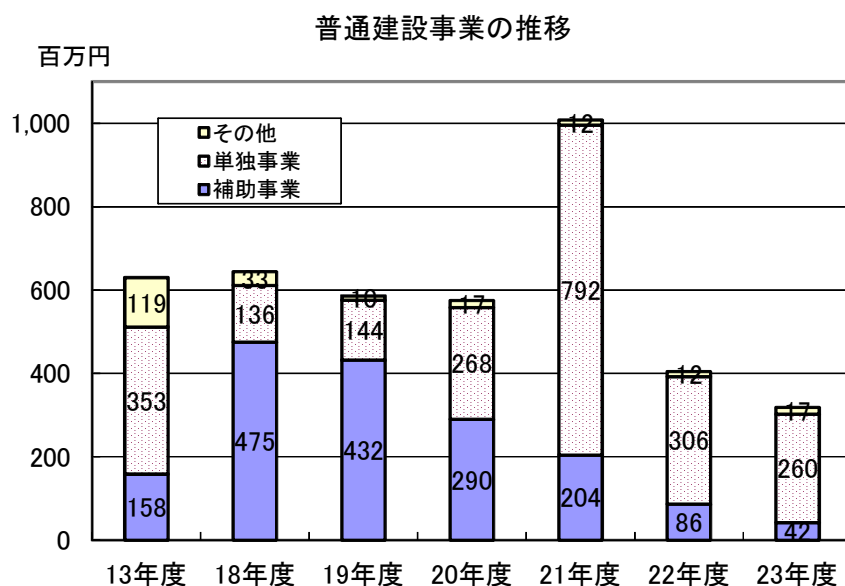


3. 普通建設事業（公共事業）の状況

○平成20年度以降は、『町民生活と地域経済を守る緊急対策』のため積極的に単独事業を実施

○施策の「選択と集中」を行う

・21年度は「あさひ保育園整備事業」のため、大幅な増となっている



(21年度は決算、
22年度からは当初予算額)

4. 財政運営の健全性の維持

(1) 健全化判断比率の健全水準の維持（第3次財政改革実施計画の取り組み）

平成20年度以降は、国の地域活性化・経済対策により、各種地域活性化交付金の創設、地方交付税及び臨時財政対策債の増があり、財政運営の健全化を図りつつ、積極的な『町民生活と地域経済を守る緊急対策』を実施してきた。

23年度も「平成23年度町長方針（町政運営の基本方針）」に沿った施策へ選択と集中を図り、積極的に実施する。また、実施にあたっては、国県補助交付金や、過疎債等の償還金に対し後年度に財源措置のある有利な町債の活用を努める。

行財政改革や公債費の削減等で経常的経費充当一般財源の抑制を行い、財政運営の健全性を維持する。

○「実質赤字比率」、「連結赤字比率」

財政調整基金残高の維持、一般会計から他会計への適切な繰出補助により、引き続き黒字決算となることが見込まれる。

○「実質公債費比率」、「将来負担比率」

町債残高が増加したが、過疎債等の償還金に対し後年度に財源措置のある有利な町債の活用により、県内市町村でトップクラスの健全性を維持する。

	20年度 決算	21年度 決算	22年度 見込	23年度 計画目標値
実質公債費比率	12.1%	11.0%	9.5%	12.5%以下
将来負担比率	53.8%	48.9%	49.0%	83.0%以下

○町債残高は、平成12年度の80億8千万円（減税補てん債1億8千万円を除いた現在高は79億円）がピーク。21年度は「あさひ保育園整備」のため増となっている。

（単位：百万円）

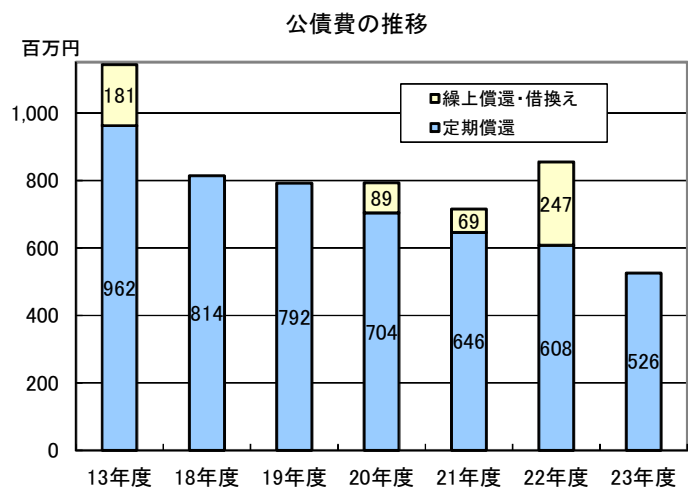
	13年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
発行額	508	499	445	399	1,053	932	383
臨財債・減税補てん債	109	181	161	151	234	273	210
臨財債以外分	399	318	284	248	819	659	173
町債残高	7,769	5,607	5,357	5,054	5,473	5,628	5,565
臨財債・減税補てん債	109	1,449	1,548	1,619	1,647	1,776	1,900
臨財債以外分	7,660	4,158	3,809	3,435	3,826	3,852	3,665

（21年度までは決算、22年度は決算見込）

※「決算統計」の記載要領に準じて計上（病院整備に充当した過疎債を除く）

○定期償還分の公債費は、平成15年度の10億2千万円（繰上償還分2億2千万円を加えた公債費は12億5千万円）がピーク。町債発行額の抑制・繰上償還により、7年連続減少

(21年度までは決算、
22年度は決算見込)



○財政調整基金の年度末現在高は、平成18年度以降7億円超で推移

予算取崩額 平成22年度当初：67百万円

平成23年度当初：34百万円

(単位:百万円)

	13年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
前年度末現在高	334	637	730	724	731	731	789
歳計剰余金処分積立額	107	118	71	119	127	164	30
予算積立額		3	2	2	2	2	2
予算取り崩し額	123	28	79	114	129	108	34
年度末現在高	318	730	724	731	731	789	787

(21年度までは決算、22年度は決算見込)



「平成23年度 朝日町予算説明書」

朝日町総務課